

外大東北復興支援隊

TUFS for Tohoku



【About us】

“外大東北復興支援隊”は、東日本大震災の被害を目の当たりにし、「東北復興のために自分達に何かできることはないのだろうか。」という想いを抱えていた東北出身の学生4人によって、4月21日に設立されました。東北が復興するのに何年かかるかわからない今、求められているのは長期的な支援活動です。NGOと協力して、現地から、そして大学から、私たちの活動内容を東京外国語大学学生ならではの方法で発信していきます。

私たちは、東北の苦しい状況下にある人たちに寄り添い、復興の手助けとなる活動を行うことで、被災された方々を支えると共に、学生にとって学びとなる活動を行うことを目的とし、活動を始めています。

設立メンバー代表：吉村健吾（外国語学部ポルトガル語専攻4年）

副代表・太田華江（大学院国際協力専攻M1）

現在、大学院生・学部生あわせて約40名の外大生が、活動に参加しています。宮城県石巻市での活動については、NPO法人JEN（緊急救援のための国際NPO）や石巻専修大学の学生ボランティア団体等、他団体のご協力を得て、進めています。また、当支援隊の顧問を務める船田クラーセン先生が代表を務める福島乳幼児妊産婦ニーズ対応プロジェクト <http://fukushimanneeds.blog50.fc2.com> のサポートも行っています。

【亀山郁夫本学学長からのメッセージ】

3, 11以降、日本全体が、「ツナミ」と「原発」の二つの災厄に苦しむなかで、発見できたことは、一つです。それは、力を合わせる、という言葉のもつ根源的な意味です。私たちはことによると、一つの社会が苦しみ乗り越え、未来に向かって歩みだそうとするときに決して忘れてはならない、この精神を長く失念していたように思います。私自身、いま、この困難な時期を生きるためのモットーとして、胸に刻んでいる言葉があります。スーザン・ソントグというアメリカの批評家が遺した一行です。「彼らの苦しみが存在するその同じ地図の上に、わたしたちの特権が存在する」。地図を広げてください。そして「苦しみ」との近さをしっかりと目に刻んでください。この4月に発足した「外大東北復興支援隊」の皆さんの献身的な努力に感謝し、これからのさらなる活躍を祈念します。また、本学に学ぶ学生のみなさんにも、いま、自分にできることは何かを、改めて考えていただきたい。日々の営みと時の流れのなかで、東北の人々の経験をけっして風化させてはなりません。

【吉村隊長のメッセージ】

3月11日、日本中を震撼させた、東日本大震災。私自身実家が被災し、悲しい出来事をいくつも経験しました。それでも自分が生まれ育った東北の地で、何かできることはないか。そのように同じ思いを持つ学生とともに立ち上げたのが外大東北復興支援隊です。1000年に一度と言われる未曾有の災害に、学生として、外大生としてできることをしていきましょう。



【今後の活動計画】

日時 2011年	活動
4月21日(木)	外大東北復興支援隊 設立
5月1~3日(GW)	福島県いわき市、宮城県石巻市でニーズ調査
5月21,22日(土・日)	石巻市でボランティア活動
~夏休みまで毎週末	①コミュニティーカフェ運営 ②移動図書館へ本の寄贈等 ③小中学生の学習支援等
夏休み(8・9月)	3~7日毎にメンバーを交代し、石巻市に長期滞在 ①~③のボランティア活動を行う予定
10月以降	毎週末石巻市で①~③等のボランティア活動を行う予定

【活動報告】

私たち外大東北復興支援隊は、現在2つの活動を進めております。

①現地での活動

1つ目は、毎週末を利用して宮城県石巻市へ行き、現地の人々のニーズに合わせて行う様々な活動です。具体的には、現地で活動する NPO 法人 JEN (<http://www.jen-npo.org/>) との共同プロジェクトであるコミュニティカフェにおいて、地域住民の方々に憩いの場を提供するお手伝いをする、移動図書館を運営する渡辺弘明さん (<http://watachildren.blogspot.com/>) へ本の寄贈を行うなどです。また、今後は震災の影響で十分に勉強ができていない子供たちのために学習塾を開き、勉強を教えるとともにこころのケアを行う計画を立てています。いずれのプロジェクトも被災された方々の声を真剣に聞く姿勢、現地での宣伝活動などが功を奏し、利用者は少しずつ増えてきています。以下は現地でボランティアに参加した学生の声です。

実際に現地に行ってみなければわからなかっただろうことがたくさんありました。被災地の方々の声に直接耳を傾け、何が必要なのか知ることが大事なのだと思います。石巻の方々の気丈さに、逆にこちらが勇気づけられたときもありました。(学部1年生Oさん)

②乳幼児妊産婦ニーズ対応プロジェクト

2つ目に、私たちは当支援隊の顧問である船田クラセンさやか先生が代表を務める福島乳幼児妊産婦ニーズ対応プロジェクト (<http://fukushimanneeds.blog50.fc2.com>) のサポート活動も行っております。先月は福島県から神奈川県に避難中の5家族の生活に必要な物品のマッチングのお手伝いをさせていただきました。今月からは川崎市内の避難所で保育サポートのボランティアを開始いたしました。以下保育ボランティアに参加した学生の声です。

6月8日(水)に、はじめて保育ボランティアに参加しました。住宅ボランティアの担当がお母さんとお話をしている間、1歳の女の子の相手をするのですが、その日はお母さん曰くご機嫌斜めだったらしく、たくさん泣かれてしまって焦りました。でも、ぬいぐるみであそんだり、童謡のむすんでひらいてと一緒に歌ったら笑顔になってくれたのでうれしかったです。お母さん方の役に立てるように、これからもがんばっていきたいです。(学部2年生Nさん)



【協力団体】

特定非営利活動法人ジェン（JEN）<http://www.jen-npo.org/>

WataChildren <http://watachildren.blogspot.com/>

福島乳幼児妊産婦ニーズ対応プロジェクト <http://fukushimaneeds.blog50.fc2.com>

【ご協力をお願い】

当団体では継続的・長期的な活動を目指しているため、交通費など多くの資金を学生だけで負担するのは厳しい状況にあり、一〇一〇万円からの寄付金を募っており、皆さまのご協力のもとボランティア活動を行っております。皆さま方に私どもの活動経費のために寄付金のご協力をお願いするのは、大変厚かましいことと存じておりますが、ご寄付をいただくと大変ありがたいです。（一〇万円以下のご寄付についても、もちろん受け付けております。）

ご協力頂ける方は、当団体連絡先：tufs.tohoku2011@gmail.com までご連絡ください。ご都合のよろしい日時・場所をご指定くだされば、代表の吉村か会計の鈴木、または他のメンバーをご指定の日時・場所にご寄付をいただきに参ります。

また、当団体の振替口座へ寄付金を振り込んでいただくこともできます。振替口座への振り込みをご希望される方は、振替払込申込書をお届けに伺いますので、上記の連絡先までご都合のよろしい日時・場所をご連絡ください。

振り込み先：振替口座記号番号 00150-8-566431 / 加入者名 外大東北復興支援隊
ATM・銀行からお振り込みされる方は、店名：019 / 預金種目：当座 / 口座番号：0566431
とご記入ください。

頂いたご寄付については、大切に管理、使用させていただきます。また本ニュースレターやメールにて、定期的に活動及び会計報告をさせていただきます。何かご意見やご質問がございましたら、上記の連絡先までご連絡ください。

設立したばかりの団体のため、いたらない点も多々ありますが、ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。お忙しい中、最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

☆活動メンバー募集中☆

私たち外大東北復興支援隊は、現在活動メンバーを募集しています。石巻市でのボランティア活動の他にも福島トーク&ライブイベントのようなイベントの準備等、被災地へ直接赴かなくても参加できる活動もたくさんあります。

外大東北復興支援隊に参加したい方、興味がある方は毎週水曜日のお昼休みに 106 教室で活動報告会を行っておりますので、ぜひ話を聞きにいらっしゃってください。

質問がある方は弊団体連絡先：tufs.tohoku2011@gmail.com までご連絡ください(^o^)

外大東北復興支援隊ニュースレター 創刊号 6月20日発行

編集者：吉村健吾、鈴木和、小早川梨央、玉井草太、和田梨紗子、曾我太一

発行所：外大東北復興支援隊（東京都府中市朝日町3-1-1 船田クラークン研究室）

E-mail：tufs.tohoku2011@gmail.com

ホームページ：<http://www.tufs.ac.jp/st/club/tufsfortohoku/index.html>